



区民がつくる まちづくり広場

No.295
2023.7

編集・発行 宮前区まちづくり協議会

3つの森のはじまり

川崎市では「市民健康の森」として緑の回復と創造に向けて、市民・行政の連携により「市民健康の森」を7区それぞれに作るよう提案されました。

宮前区では、1998年に市民・行政からなる「市民健康の森構想検討委員会」を結成、24回の検討会議をおこない、コンセプトとして、「里山の雑木林を中心とした自然環境を選ぶ」とし、①初山のとんもり谷戸（生田緑地の一部）、②菅生緑地、③野川緑地群の三地区に絞り込み、各ワーキンググループの構想案を作成、最終討議を行い、2003年菅生緑地が宮前区の「市民健康の森」と決定されました。

宮前区の市民健康の森は、「水沢森人（ミズサワモリンド）の会」を設立、森の開拓、造成、維持管理などを行う市民の会を立ち上げ、月1回の活動によりビオトープを作るなどしながら維持管理を行い雑木林の森に育てています。また、周辺の農地も市の緑地拡大計画により森の一部となり、里山の畑風景を含めた森として一つの景観となっています。

とんもり谷戸は、1996年に「飛森谷戸の自然を守る会」を設立、初山の八幡神社跡地を中心に森と川の維持や掃除をし、「蛍」の再生を目指して月

1回の活動を続けてきました。また、尾瀬の片品村や、長野県の佐久市との交流を図る等積極的に森の維持を学び、現在は生田緑地の拡大に伴い、森の活動だけでなく、畑や田んぼの再生など仕事が増え、多くのイベントを計画、活動しています。

南野川ふれあいの森は、2004年3月「野川・南野川の森を体験しよう」と市民館生涯学習講座で集まった市民が実際の森を歩いてみて、森が荒れている、利用しやすくするにはどうしたら良いのかなどを発表し合い、近隣の市民自らの力で行えることはやっていこうと、有志数名で立ち上げました。そして、森の手入れを始め、「野川・は・あ・も」の誕生となりました。

3つの森とも、都市の近くにありながら自然に親しむことのできる場所として、市民に開放されています。ぜひ遊びに行きましょう。新しい発見があります。



現在の水沢の森



二十数年前の森

第18回宮前区フォトコンテスト作品募集

写真とメッセージで宮前区のいいところ撮り！

区の魅力を内外にアピールすることを目的としたフォトコンテストを開催します。撮影技術以上に写真の内容やメッセージ性を重視します。

入賞作品は区民祭当日に表彰式を行うほか、全ての応募作品を宮前市民館市民ギャラリーで展示します。入賞者には賞状と景品を贈呈します。

応募期間

6月1日（木）から7月31日（月）（必着）まで

応募に関する詳細は、区役所などで置かれているチラシまたは区HPをご確認ください。

問合せ先 宮前区役所地域振興課

TEL 044-856-3125

区HP



まちづくり広場へのご意見・ご感想はこちらまで

（事務局）宮前区役所地域振興課

電話 856-3125

F A X 856-3280

E-MAIL 69tisin@city.kawasaki.jp

HP アドレス <https://www.miyamae-machikyo.com>



【編集後記】 「一時停止違反です」「えー！！止まりました」「あれでは止まったとは言えません」 うーん、考えて見るとコロナの発生により国の台所事情は逼迫状態。国民の多大な反感を買うより簡単に『歳入金』になるのは交通違反かな？というわけで、横断歩道で立ち話はやめてください。楽しく会話は道ばたで。ドライバーは横断歩道に人が立ったら止まらなくてはならないのです。無視したときはまた違反切符切られます。私のお小遣いになります。（A.H.）



特集「宮前区の森」

宮前区内には「森」と言われる場所が3つあります
森は、市民が立ち上げ、運営・管理もしています



菅生緑地（水沢の森）

●市営バス「水沢一丁目」徒歩約10分

●小田急バス「美しが丘三丁目」徒歩約1分

南野川ふれあいの森

●東急バス「野川台」徒歩約20分

●東急バス「稲荷坂」徒歩約5分



水沢森人の会 HP



野川はあも HP



飛森谷戸の自然を守る会 HP



各森とも駐車場がないため公共交通機関をご利用ください

今月号の主な内容

- 1面 ・特集：宮前区の森「菅生緑地」「とんもり谷戸」「南野川ふれあいの森」
- 2面 ・特集：宮前区の森
- 3面 ・特集：宮前区の森
- 4面 ・3つの森のはじまり・第18回宮前区フォトコンテスト作品募集

次号予告

・まちづくり協議会では区内で活動している団体に資金面でも支援を行っています。
この資金支援について特集します。

水沢森人の会（菅生緑地・西地区 市民健康の森）

菅生緑地・西地区にある水沢の森は、川崎市宮前区の市民健康の森として指定され、「水沢森人の会」として、市とも協力しながら、市民ボランティア活動組織として22年間、里山保全活動を続けてきています。宅地開発、都市化が進む中、子どもたちに里山の自然に親しんでもらい、ふるさとを作っていきたい、そういった思いで活動してきました。

市民健康の森の名の通り、森林整備として樹木の伐採、草刈り、竹林整備、農作業など、その時々必要とされる作業で体を動かし、心地よい汗をかきながら、自然と戯れ、土に触れることで心身ともに皆さんリフレッシュしています。

早春には鶯やガビチョウの鳴き声が響き渡り、梅や山桜、果樹の木々の花も咲き始め、春の訪れを感じられる草花や、木々の芽吹きで眩しいほどの新緑に覆われています。夏の暑い日には森の木陰や竹林から流れる涼しい空気が心地良く、秋には赤く染まる紅葉街道もあり、



活動日 毎月第3日曜日9～11時

近くにこんな溢れる自然と季節を感じられる場所があったのだと、心癒やされることと思います。定例活動は毎月第3日曜日（9時～11時）、会員の皆さんが集うひと時です。雑草や竹を刈って雑木林や竹林を整備したり、毎月の花ごよみ調査を通して、四季折々の草花を知ることできます。そのほかに「森の案内人」（パトロール）活動も実施しゴミ集めや公園利用者の案内などを、池班ではビオトープ池の整備作業も行っています。農作業班では作業を通して、里山の仕事を体験できます。森を訪れ、活動する会員も増えてきて、老若男女を問わず温かな交流が続いています。未来を担う子どもたちや若者など、幅広く多



くのの人に森で自然に親しんでもらいたいです。まずは毎月の定例活動に来てみませんか？気軽に参加いただけたら幸いです。
（水沢森人の会 陰山綾）

飛森谷戸の自然を守る会（生田緑地・初山地区）

生田緑地初山地区（とんもり谷戸）で活動している「飛森谷戸の自然を守る会」は1996年に発足、とんもり谷戸で楽しく自然環境に触れ、その大切さや保全の必要性を深く知ってもらう活動を行って今年で28年となります。

毎月第2日曜日（9時から昼ごろまで）が定例の活動日。皆さんといっしょに雑木林の下草刈りや川のゴミ拾いを行って里山（とんもりでは里都山と呼んでいます）の風景を守り、また田んぼでの稲づくりやダイコンやジャガイモなどを育てる農作業も行っています。自然観察会ではバッタやトンボなどを、夜の観察会では川崎国際ゴルフ場へ

入り、カブトムシやクワガタを採取しています。

親子で参加する「どろんこ教室」をはじめ、きのこクラブなど、泥いじりをしながら親子関係を深めてもらう活動もしています。春と秋には森の広場で音楽会も開催していて、この6月で43回目



活動日 毎月第2日曜日9～12時

なります。生田緑地は都会に残る緑として大切な自然空間です。会の看板に「太陽と大地の恵み自然を大切にしよう！」とうたっています。ただ緑を守ると言っても、なかなか実感が湧かないものです。その場所で土に木に触れることで自然の大切さを感じ取れると思っています。小さい時に触れた土の感触は残っているものです。森や小川で自由に遊んでください。でも飛森の自然を守るためには、動植物を大切に、柵や積石を壊さないなど森の掟があります。掟を守って楽しく遊びながら自然の大切さを学び、それが大人となり受け継がれることを願っています。



頑張り過ぎずに、ゆっくり&ゆったり楽しく、とんもり谷戸の緑の中で多くの皆さんに過ごしていただきたいです。
（飛森谷戸の自然を守る会 会長 高木一弘）

野川はあも（南野川特別緑地保全地区）

森…木がたくさんあって、少し薄暗くて、一人で足を踏み入れるのはためられる、厳かなイメージでしょうか。私たちのフィールドである「南野川ふれあいの森」は、大きな木もたくさんありますが、長い年月をかけ人が手入れをして育まれた雑木林です。一人で、親子で、近所の友達とふらっと出かけられる、いわば日常にある森なのです。活動を始めた頃は林の中に竹が多く入り込み、暗く鬱蒼としていて、ふれあいの森とは名ばかりの人が寄り付かない藪でした。そこで、2、3年は、ひたすら竹を切りました。子育て中のメンバーは、子連れで参加、大人も子どももノコギリを持ちます。竹は木と違い、子どもでもがんばれば、

切り倒すことができ、しかも切った竹を子ども何人かで運ぶこともできるのです。1本の竹を切った達成感と、その場がぱあっと明るくなる体験は、野川はあもの原点なのかもしれません。竹切り、下草刈り、落ち葉かき、倒木処理などの森の手入れや、看板や柵の作成作業と共に欠かせないのは観察



活動日 毎月第1日曜日 10～15時、第4土曜日9時半～12時

の時間です。「はあもビンゴ」というゲームで毎月様々な生き物を観察し、森を守り育てるヒントにしています。こんな活動を続け、野川はあもは、来年5月に20歳を迎えます。ここ数年は、台風による倒木や幹折れ、ナラ枯れの発生による大半のエリアへの立入り禁止、コロナ禍など思わぬ出来事が続きましたが、季節が巡れば、植物や虫、鳥などにいつものように出会えて、励まされました。たくさんの命が育まれる南野川ふれあいの森がここにあり続け、そして森の命が巡るのと同じように、今の子どもたちが親となり、子連れで再び活動に参加する、そんな未来が続いたら最高だと夢見ています。「はあも」という名前は、はぐくむ、



あそぶ、もりです。人と緑、まちと緑のはあもに一（調和）を目指して、一緒に森で過ごしましょ！年齢も住まいも問いません。気軽に活動日（第1日曜と第4土曜）に遊びにきてください。
（野川はあも 会長 伊藤菊代）